



女川原子力発電所の状況について

平成24年11月7日

東北電力株式会社



報告内容

1. 当社原子力発電所における燃料集合体チャンネルボックス上部の一部欠損に係る報告（中間報告）について

1. 本事象のこれまでの経緯

平成24年6月15日

女川3号機のチャンネルボックス1本の上部（クリップ接合部）に欠損（1箇所：長さ約1.9cm）を発見。



平成24年7月10日

女川3号機の使用済燃料プールに貯蔵されている全ての燃料について、同様の欠損がないか水中テレビカメラによる観察を実施していたところ、他にも欠損の可能性があるチャンネルボックスを確認。



平成24年8月10日

女川3号機の使用済燃料プールに貯蔵されている全ての燃料1,386体についてチャンネルボックス上部の外観点検を実施。欠損の可能性がある燃料の詳細点検を実施したところ、18体の燃料のチャンネルボックス上部クリップ接合部に一部欠損（最大長さ約2.6cm）を確認。また、これらの燃料について外観点検を実施した結果、チャンネルボックス上部の一部欠損以外に異常がないことを確認。その時点までに確認している状況について、中間報告として取りまとめ、原子力安全・保安院へ報告。

前回までの「報告内容



2. 各号機の点検状況(中間報告)1/2

平成24年9月10日

- 女川2号機の使用済燃料プールに貯蔵・保管している全燃料1,807体について、チャンネルボックス上部の外観点検を実施し、欠損の可能性があると判断された燃料の詳細点検を実施したところ、13体の燃料のチャンネルボックス上部クリップ接合部に一部欠損(最大長さ約1.1cm)を確認。
- 女川3号機の使用済燃料プールに貯蔵・保管している全燃料1,386体のうち、一部欠損が確認された18体を除く燃料について、抜き取りによる外観点検を実施した結果、損傷、変形等の異常がないことを確認。
- 8月10日付け中間報告以降の状況を取りまとめ、原子力安全・保安院へ報告。

2. 各号機の点検状況(中間報告)2/2

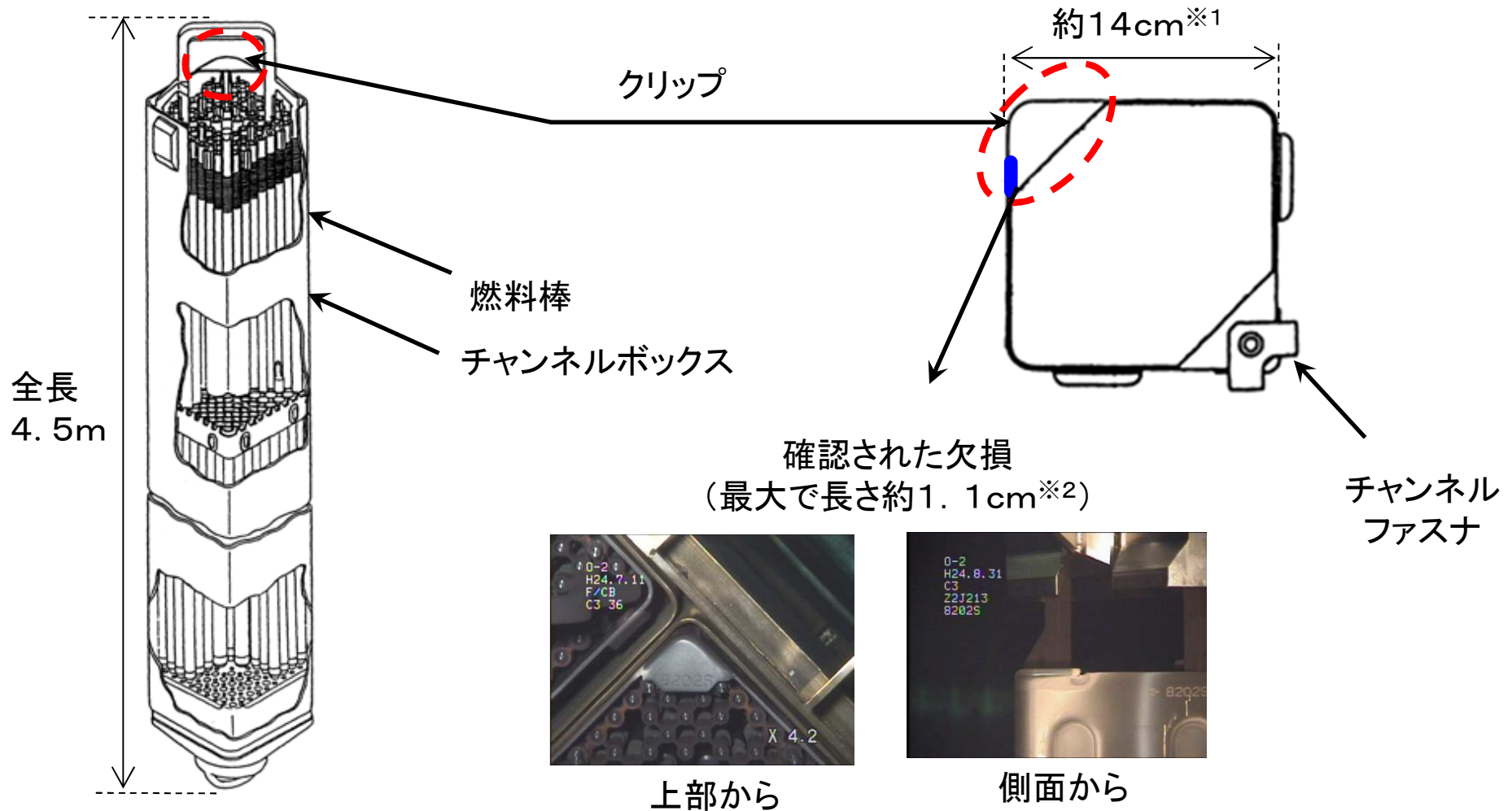
| 号機 | 燃料の点検数 | チャンネルボックスに一部欠損のあった燃料の数 | 欠損長さ(最大) | 当該燃料の健全性 | 当該燃料以外の燃料の抜き取りによる外観点検 |
|-------|-----------------------------|------------------------|----------|----------|-----------------------|
| 女川1号機 | 天井クレーンの復旧状況*1を踏まえ、点検計画を策定する | | | | |
| 女川2号機 | 1,807体*2 | 13体 | 約1.1cm*3 | 調査中 | 調査中 |
| 女川3号機 | 1,386体*2 | 18体 | 約2.6cm | 異常なし | 異常なし |

*1：平成24年6月7日、女川1号機原子炉建屋天井クレーンの4カ所ある走行部のうちの1カ所に損傷を確認した。他の走行部も含め、点検調査を実施している。

*2：東北地方太平洋沖地震時に原子炉に装荷されていた燃料560体含む

*3：チャンネルファスナにより欠損部長さが確認できないものを除く

3. 女川2号機の燃料のチャンネルボックス上部の欠損状況（例）



**燃料集合体概要図
(9×9燃料(A型))**

※1 チャンネルボックス外寸

※2 チャンネルファスナにより欠損部長さが確認できないものを除く。



4. 今後の対応

- チャンネルボックスに欠損が生じた要因については、溶接を施したクリップ接合部の「製造欠陥（溶接不良）」および燃料等の移動時における「接触による損傷」の2つに絞り込んでおります。
- 原因の究明ならびに再発防止対策について11月末を目処に検討をすすめてまいります。